

承認番号	2020-038
研究課題名	MEGを用いたてんかん性高周波脳活動の研究
研究の意義・目的	大阪市立大学医学部附属脳神経外科では、これまでたくさんの方のてんかん患者さまに「脳磁計」での検査を提供してまいりました。脳磁計検査は、脳の中でてんかんの発作を引き起こしている原因となる部分を見つけるために、世界中で幅広く利用されている検査です。最近の研究では、脳磁計によって計測される脳活動の中でも、これまであまり注目されていなかった「高周波の脳活動」が、てんかんの原因を調べるために役に立つと報告されています。しかし、この高周波の脳活動は、見つけることが難しいとされています。また、当学で利用している株式会社リコーの脳磁計（世界にはいくつかの種類脳磁計メーカーがあります）を使って、高周波の脳活動を見つけたという報告はありません。私たちの研究では、これまでに当学の脳磁計で脳活動を計測をさせていただいたてんかん患者さまのデータを活用させていただき、その中に、高周波の脳活動が記録できているものがあるか、またあるかという研究を行います。この研究の結果を使うことで、脳磁計検査での高周波の脳活動を見つける技術が向上して、てんかん患者さまの脳磁計検査の精度の向上に貢献できると考えています。
研究を行う期間	倫理委員会による承認後～2023年3月31日
研究対象者の範囲	2006年1月1日～2020年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の脳神経外科で、てんかんの診断または治療のため受診され、脳磁図(MEG)検査を受けられた患者さまが対象です。
お願いする内容	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究機関に頂いた以下の情報を提供します。 <input checked="" type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳磁計のデータ</li> <li>・MRIのデータ</li> <li>・頭蓋内留置電極データ</li> <li>・脳波計データ</li> <li>・MRIデータ</li> <li>・診断名</li> <li>・てんかん焦点に関する臨床所見</li> </ul>
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学医学部附属脳神経外科 講師 宇田武弘
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学医学部附属脳神経外科 講師 宇田武弘 株式会社リコー HC事業本部 メディカルイメージング事業センター MEG事業室 室長 塚本武雄
代表施設のURL	<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Neurosurg/index.shtml">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Neurosurg/index.shtml</a>
研究の成果を公表する方法	各種学会発表(脳神経外科学会、てんかん学会、生体磁気学会など)、論文発表
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
連絡先	※受付方法（郵便、メール、電話、FAX） 連絡先：大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科 宇田武弘 住所：大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3846 FAX：06-6647-8065 E-mail：neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp